

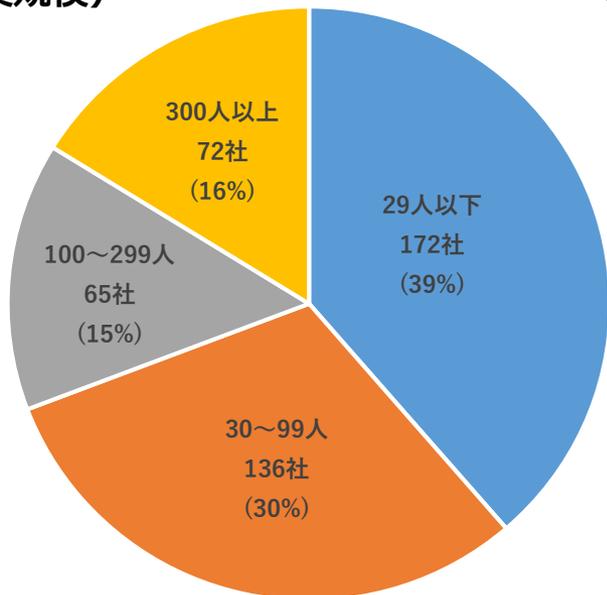
企業の出勤状況調査（2021年12月分）

<実施概要>

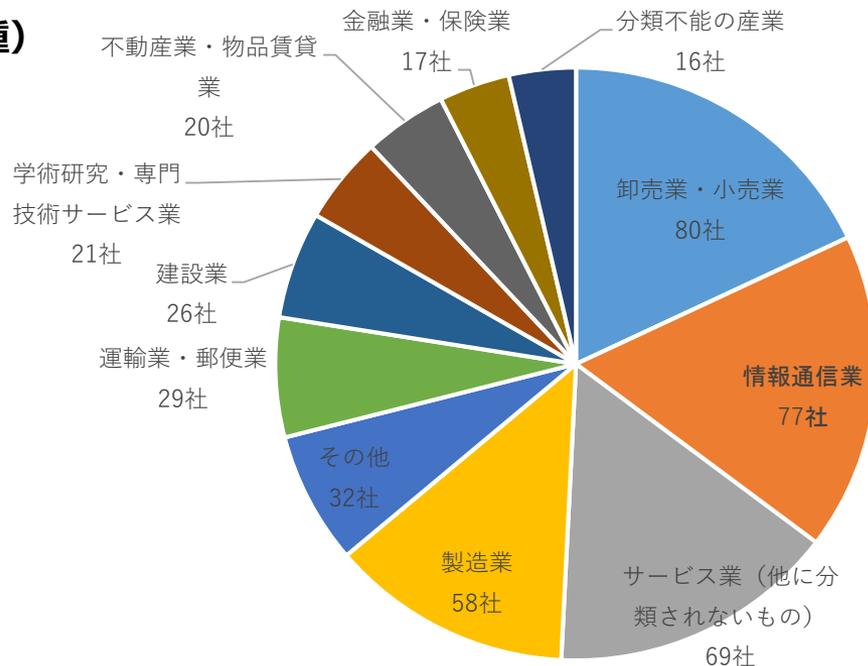
- 対象：約3,000社（スムーズBiz・時差Biz登録企業、スムーズBiz実践期間の事後アンケート回答企業）
- 実施期間：2021年12月13日（月）～12月17日（金）
- 質問項目（全5問）
 - Q1 12月の取組内容
 - Q2 11月と比較した、テレワーク・時差出勤の取組規模
 - Q3 Q1で「特に取り組んでいない」と回答した事業所について、実施しなかった理由
 - Q4 12月の出勤割合
 - Q5 今後のテレワーク・時差出勤への取組意向
- 総回答企業数：445社（前回調査：535社）

<回答企業の属性>（N=445）（注）各計数は、原則として表示単位未満を四捨五入しているため、合計等に一致しないことがある。

（企業規模）



（業種）



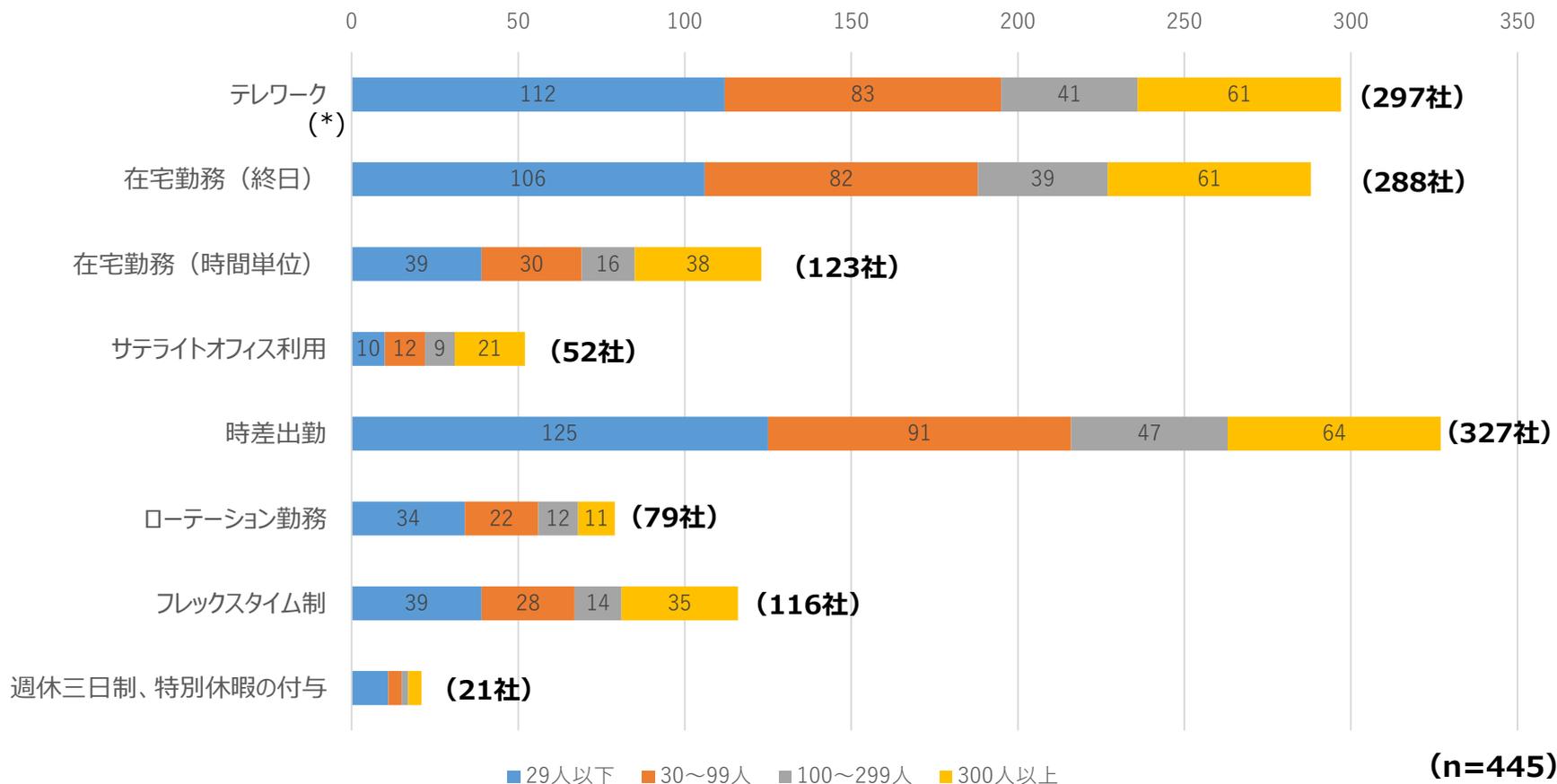
■ Q1 : 12月の取組内容

○ 12月の取組企業数（複数回答）

○テレワークを実施している企業は、ほぼすべての企業が在宅勤務（終日）を実施しており、それに加え、時間単位の在宅勤務やサテライトオフィス勤務などを組み合わせて取り組みをしていることがわかる。

○テレワーク以外では、時差出勤を実施している企業が、300を超えており、全体の約7割となっている。

○企業規模「29人以下」、「30～99人」の企業のほうが、各取組を実施している割合が高い傾向にある。

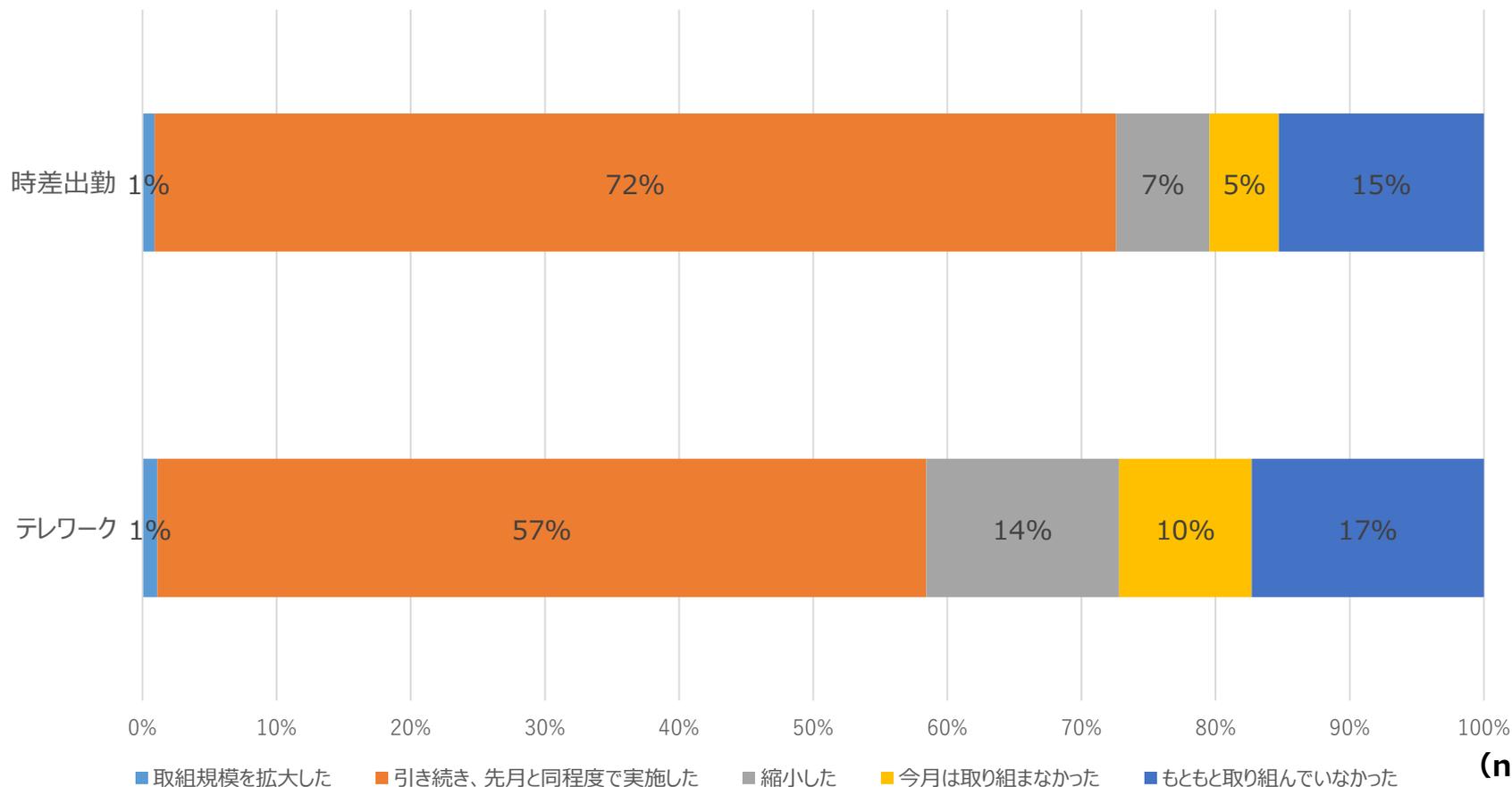


(*)在宅勤務（終日、時間単位）、サテライトオフィス勤務のいずれか1つ以上を実施している企業数

■ Q2：1 1月と比較した、テレワーク・時差出勤の取組規模

時差出勤・テレワーク

- 1 1月と比較したテレワーク・時差出勤の取組規模
- 時差出勤では約7割、テレワークでは約6割が「引き続き、先月と同程度で実施した」と回答した。
一方、テレワークは約1割の企業が、「縮小した」と回答した。
- テレワークを「縮小した」「今月は取り組まなかった」「もともと取り組んでいなかった」と回答した企業は、全体の約4割となっている。

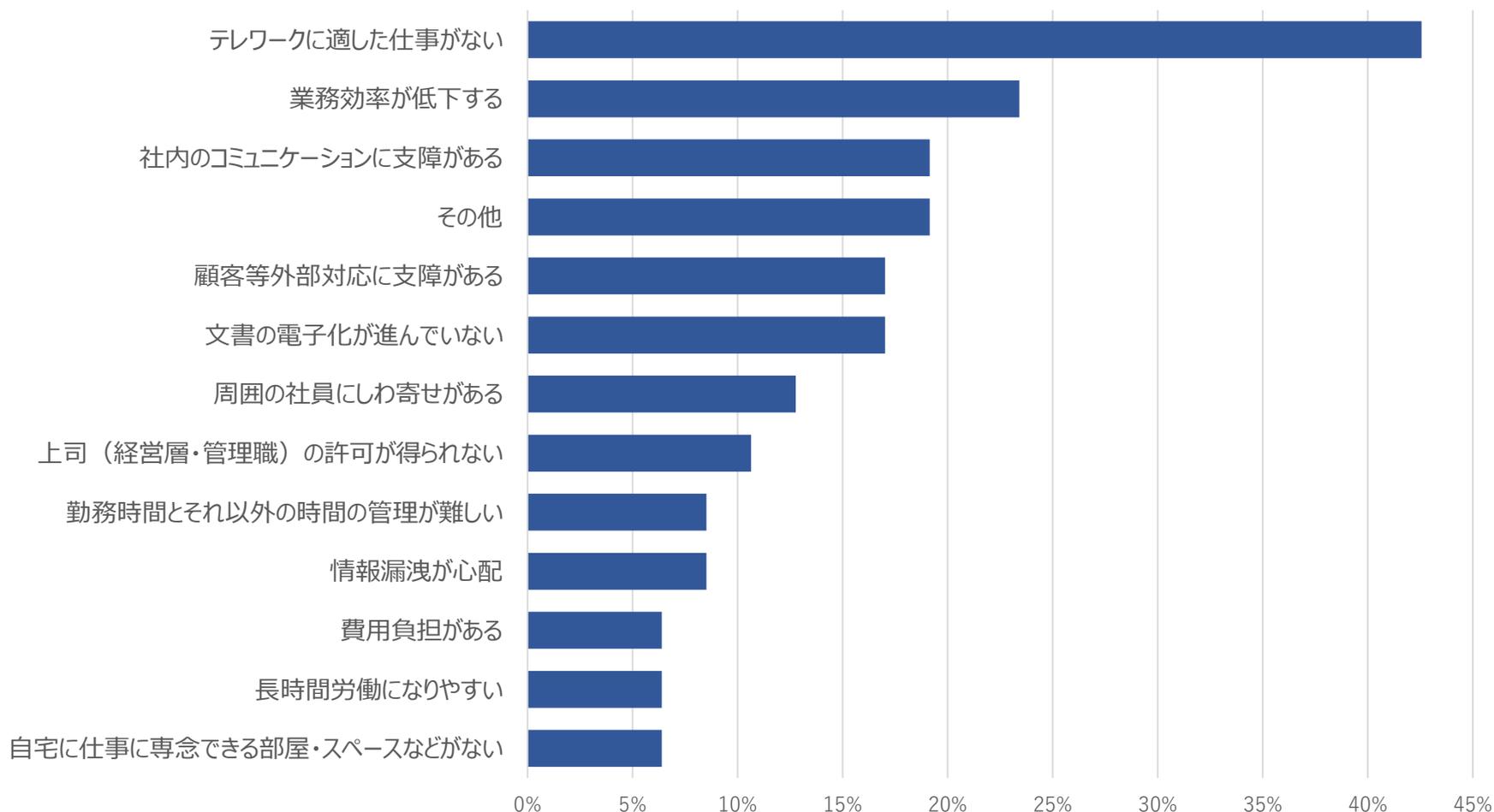


(n=445)

■ Q3 : 時差出勤、テレワークの未実施理由

時差出勤・テレワーク

○Q1において、時差出勤、テレワークに「特に取り組んでいない」と回答した企業の未実施理由（複数回答）
○最も多かった選択肢は、「テレワークに適した仕事がない」で、約4割であった。

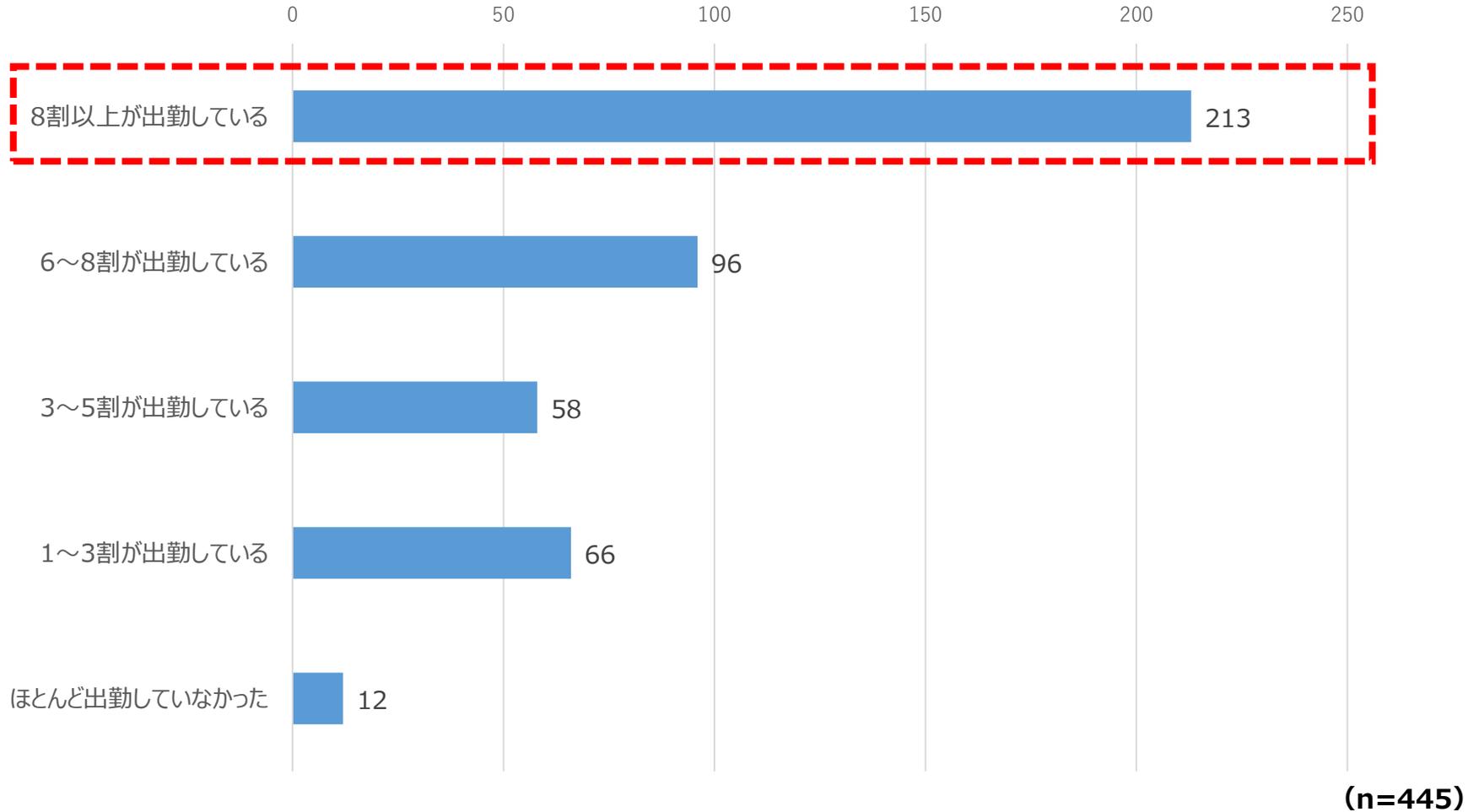


(n=47)

■ Q4 : 1 2月の出勤割合

時差出勤・テレワーク

○ 1 2月の出勤割合
「8割以上が出勤している」と回答した企業は、全体の約5割である。



■ Q5 : 今後の時差出勤・テレワーク等の取組意向

時差出勤・テレワーク

○今後の時差出勤・テレワーク取組意向

○時差出勤、テレワークともに約6～7割の企業が「引き続き同程度で実施する」と回答した。

一方、時差出勤では5%、テレワークでは9%の企業が「解除後は縮小する」、「取組をやめる」と回答した。

